



佐太っ子

佐太小
ホームページも
ご覧ください！



令和8年（2026年）がスタートしました

新年おめでとうございます。令和8年が始まりました。1月6日には、島根県東部を震源として、震度5強の地震が発生しました。大きな揺れが立て続けに起こり誰もが不安な気持ちにかられたことと思います。幸い佐太小学校は被害がなく、各家庭からも、通学路についても非常事態を告げる報告はありませんでした。無事3学期の始業式を迎えることができ、本当によかったと感謝しました。登校してきたこどもたちは、ロタに「地震、すごかったね。」「怖かったよね。」「どうしていた？」など話していました。始業式では、最初に地震についての話をし、みんなが無事であることを喜び、学校や地域は安全であることを伝えました。そして、「地震発生時どう行動したか？」の問いにこどもたちは、「机の下に潜って頭を守った」「2階から1階に降りて避難した」など、これまでの避難訓練の経験を生かした行動をすることができたと答えてくれました。「なぜそういう行動をしたのか？」という問いには、「身を守るため」「命を守るため」としっかり答えてくれました。一番大切なたった一つの「命」を守るために、自分で考えて行動してほしいことを伝えました。いつも大人が傍にいて守れるわけではありません。これからも、自分で考え行動できる佐太っ子を育てるために、努力していきたいと思ひます。

また、始業式では、今年の干支「丙午」について話をしました。

「丙」は、陽の火のエネルギーを象徴しています。そして、「午」も火の性質をもち、「躍動」「成功」「行動力」を表します。この2つの「陽の火」をもっている今年、燃え上がるエネルギーに満ちあふれ、行動し、成功する年といえるでしょう。

つまり、2026年は【やり遂げるんだという情熱をもって行動することで成功する年】です。

3学期は、今の学年を締めくくり、次の学年・学校に向けての準備をしていく大切な学期です。1～5年生は50日、6年生は46日しかありません。こどもたちには、「この短い3学期、時間を大切にし、【え】がおであいさつし、【が】んばる心と体をつくり、【お】しえ合い助け合いみんな協力して本気で取り組み、自分でコツコツ、なかまと一緒にコツコツがんばって、炎のように燃えてやり切り、令和7年度を成功させましょう！」と伝えました。前向きに努力できる佐太っ子たちなので、きっと燃えて取り組み、素晴らしいまとめの3学期になることと思ひます。私たち教職員も、こどもたちと一緒に力を合わせ全力で取り組んでまいります。

保護者・地域のみなさま、今年も変わらずご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。



お絵描きクラブ・絵手紙講師として来てくださっている安達久美子さんが、今年も干支をモチーフとした色紙を寄贈してくださいました。寄り添う親子の様子から幸せが伝わってきます。ありがとうございました。

上学年と下学年とのペア読書

朝読書の時間に、全校ペア読書を行いました。上学年は、読み聞かせをするペアの下学年の友達に合う本を選び、読む練習をしてきました。ペア読書本番では、緊張しながらも、みんなとても上手に読み聞かせをすることができました。聞いている下学年のこどもたちは、嬉しそうに物語の世界に浸っていました。終了後、下学年は、上学年にお礼の手紙を書き、互いの絆を深めるペア読書となりました。



委員会の活動から

現在、佐太小学校には4つの委員会があり、4～6年生のこどもたちが所属し、「みんなの笑顔輝く佐太小学校」をつくるために活動をしています。1月13日（火）、14日（水）の昼休みに2つの委員会がフェスティバルを開催しました。

生活フェスティバル

生活委員会は、自分の選んだあいさつを全力で言ったり、隠された片方のスリッパを見つけ出し、それを綺麗にそろえたりするゲームを計画しました。このフェスティバルを通してこどもたちは、普段の学校生活でも気持ちのよいあいさつを心がけたり、スリッパをそろえたりすることをやっていきたい気持ちを高めることができました。



クリーンフェスティバル

環境委員会では、ゲームなどの楽しい活動を通して、ごみの分別方法や掃除用具の正しい使い方を全校に知ってもらいたいと計画しました。参加したこどもたちは、友達と協力してゲームに参加し、フェスティバルを楽しんでいました。



どちらの委員会も、こどもたちが主体的に計画・準備し、当日も参加した友達に優しく声をかけながら、テキパキと上手に進めることができました。

人権集会

同学年間・異学年間の共感的な人間関係をつくることをねらい1月16日（金）に人権集会を行いました。また、この人権集会では、6年生のこどもたちが会を運営しました。全校児童に「言われてうれしかった言葉アンケート」を取り、その上位5つを発表したり、全校じゃんけんゲームや縦割り班ごとのチームに分かれてゲームをしたりしました。振り返りからは、「みんながうれしくなる言葉を使っていきたい。」「いろいろな友達と楽しく活動できてよかった。」と、前向きな意見をたくさん聞くことができました。いつも友達となかよくできる佐太っ子たちですが、この集会によって、さらに多くの友達とかかわりよい関係を築くことができました。

